

鶴見工場建替事業に係る建設工事計画説明会
「ご質問・ご意見の要旨」と「当組合の見解・回答」

No.	ご質問・ご意見の要旨	当組合の見解・回答
1	新鶴見工場の発電機能力は21,000kWとなっていますが、現鶴見工場の発電機能力は何kWでしょうか。	現鶴見工場の発電機能力は12,000kWです。
2	新鶴見工場で発電した電気を売って得られたお金の使用用途を教えてください。	売電収入については、当組合の運営費として使用します。
3	新鶴見工場の煙突の高さを教えてください。	煙突は、内筒と外筒で構成しています。内筒は更新しますが、外筒は今後行う調査で使用に問題が無ければ、再利用する計画です。 煙突高さは現在の100mから変更ありません。
4	臭気が風向きによって屋内に侵入してきます。 また、粉じんの影響によって家屋に取付けたフィルターが黒くなったりします。 新鶴見工場では臭気や粉じんの発生が改善されるのでしょうか。	現鶴見工場によりご迷惑をおかけしているのであれば、申し訳ないです。フィルターが黒くなる原因は、中央環状線を走行する自動車や近隣工場の影響も考えられるため、現鶴見工場による影響かどうかわかりません。 新鶴見工場からの排ガスについては、当組合で最も厳しい管理値を設けて運転する計画です。
5	解体工事では、爆発を伴うような作業があるのでしょうか。 解体工事により、高層階までダイオキシン類やアスベストが飛散することを心配しています。 解体の日程を事前に周知していただけるのでしょうか。	解体工事で爆発を伴うような作業はなく、重機を使用して徐々に工場建物の解体を行います。 解体工事を開始する前に、ダイオキシン類やアスベストの調査を行います。ダイオキシン類やアスベストが確認された部分については、ダイオキシン類の除染作業やアスベストの除去作業を行ってから解体工事を行います。 ダイオキシン類の除染作業では、建物外部に粉じん等が飛散することがないように集じん装置を設け、建物内を負圧にして除染作業を行います。また、アスベストの除去作業でも外部に飛散することがない方法で除去作業を行います。 なお、工事期間中は、事業者が環境影響を把握するために騒音・振動などの環境調査を行いますが、組合におきましても工事による環境影響を把握するため、四半期ごとの環境調査を行う予定です。 ご迷惑をおかけすることがないように丁寧に解体工事を行いますが、どうしても発生する騒音や振動につきましては、ご理解くださいますようお願いいたします。
6	生活道路に影響するような工事のやり方は避けて、渋滞とか排ガスがでないように極力努力してほしい。 解体工事期間中の工事車両台数を教えてください。	敷地西側のサブルートは極力使用を控える計画です。また、通行禁止道路及び通行禁止としている部分は、通勤車両も含めて通らないように指導します。 解体工事期間中は1日20～30台の工事車両の出入りを想定しています。
7	敷地西側のサブルートは通学路のため、登下校の時間帯は利用しないでほしい。 また、花博通りで一時停車する工事車両があると交通渋滞や排ガス増加の原因になるため、工事車両の待機場所として花博通りを使用しないでほしい。	敷地西側のサブルートは極力使用を控える計画ですが、工事車両の通行時間帯等については小学校と相談し調整します。 また、花博通りの一時停車については、工事車両の表示を含め、工事関係者に対し指導を徹底します。